

自然と共生する、 持続可能な都市をデザインする

近年、わが国では社会の基盤整備が進んできたとはいえ、東日本大震災のような未曾有の災害に対するハード・ソフト面でのバランスの取れた対応策はまだまだ不十分な段階にとどまっています。また、建設関連の分野で技術者として要求される資質にも大きな変化が生じてきています。すなわち、地球規模の環境保全、自然や生態系と共生できる都市づくり、循環型・低炭素かつレジリエントな社会の構築など、多面的な課題対応が求められているのです。

本専攻では、従来型の「ものづくり」の枠組みを超え、「総合デザイン力」に根ざした広い視野と豊かな感性による新しい時代の都市デザイン能力を養成します。専門領域を「都市プランニング」「環境システム」「施設デザイン」の3分野に大別し、さまざまな問題点を高い視点から捉えて解決する力を養うためのカリキュラムを用意。国際性を身に付ける外国語系科目も重点的に配置しています。また、社会活動や設計・制作の実践力を高める「スタジオ科目」も用意しています。

社会基盤などを設計・建設・整備・管理する最先端の手法を習得し、生活を守る防災技術や自然生態系などとの調和を図りながら環境を保全・再生していくことのできる技術者の養成を目指します。

アドミッション・ポリシー (学生受け入れ方針)	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成・実施方針)	ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)
建設・環境分野の業態が多様化、国際化している現在、専門に特化した人材のみならず、幅広い能力を持つ人材が求められています。また、急速な技術革新に適応するためには社会人に対するリカレント教育も必要です。こうした要請に応えるため、修士課程に、一般入学制度のほか、一般推薦・社会人特別・外国人学生特別、さらにキャリア3年コースなどの多様な入学制度を設けています。博士後期課程では、学位論文作成に必要な語学力と専門能力を有していることを評価します。	従来型の単なる「ものづくり」の能力という枠組みを超え、新しい時代にふさわしい都市をデザインする、広い視野と豊かな感性を備えた人材を養成することを目標とします。このためには、さまざまな問題点を高い視点からの確に捉え、解決する力が必要となるため、修士・博士後期課程とも、専門領域を「都市プランニング」「環境システム」「施設デザイン」の3分野に大別し、高度な能力を持つ技術者・研究者を育てるためのバランスに配慮したカリキュラムを配置しています。	各課程において、所定の単位とプロジェクト科目を履修し、論文の審査ならびに最終試験に合格した者に、修士課程では修士(工学)、博士後期課程では博士(工学)の学位を授与します。修士課程では、都市環境デザイン分野の専門性と創造性、表現力を身に付けた「総合デザイン力」を審査の基準とし、博士後期課程では、都市環境デザイン分野の先端的な研究者あるいは高度な専門技術者としての自立性を審査の基準とします。

専任教員	専攻	研究テーマ	主な担当科目
今井 龍一 准教授	都市交通計画、土木情報学	社会空間情報研究室:安心・安全で快適な生活を送るには、都市経営をどのように推進すればよいか?を支援するため、国土空間や都市活動の現状を知る、潜在する事象を発見する、将来を予測する、諸課題への対策を講ずる技術やマネジメント手法を研究する	交通計画、測量学、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4
内田 大介 准教授	鋼構造、メンテナンス工学	鋼構造物の長寿命化と維持管理	鋼構造の疲労、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4
酒井 久和 教授	地盤地震工学、減災工学	限られた予算内で効率的に地震被害を軽減する方法を研究する	地盤・地下水環境保全学、都市環境デザイン工学基礎2、地盤と環境1、環境システム論、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4、都市環境デザイン、工学特別研究1/2/3/4/5/6
鈴木 善晴 教授	水文気象学、水文環境学	集中豪雨などの降水現象の解明とその工学・防災への応用、温暖化や大気汚染を中心とした地球環境問題の影響評価	都市環境デザイン工学基礎1、応用水文学、流域水文学、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4、都市環境デザイン特別研究1/2/3/4/5/6
高見 公雄 教授	都市設計、都市デザイン	美しく、ふさわしいまちづくりの追求。気候風土や地形的要素などと都市基盤、土地利用の調和	地域・都市再生概論、サステナブル都市デザイン、都市環境デザイン工学基礎2、都市プランニング論、国土・地域概論、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4、デザインスタジオ1/2(都市)、都市環境デザイン工学特別研究1/2/3/4/5/6
福井 恒明 教授	景観計画、景観設計、社会基盤構造物・空間のデザイン	公共空間や構造物のデザイン、景観計画や関連制度のプランニング・マネジメント、景観の認識・評価・歴史など、良好な地域景観の創出・保全の考え方や手法について研究する	都市計画法と政策、景観デザイン概論、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4、都市環境デザイン工学特別研究1/2/3/4/5/6
溝渕 利明 教授	コンクリート材料学、構造物診断技術	コンクリートの一生を考える	材料科学概論、耐久性力学、都市環境デザイン工学基礎1、施設デザイン論、コンクリート工学、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4、都市環境デザイン工学特別研究1/2/3/4/5/6
道奥 康治 教授	環境水理学、河川工学	河川と流域の水質水理学	流域水マネジメント、環境システム論、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4、都市環境デザイン工学特別研究1/2/3/4/5/6
渡邊 竜一 講師	構造デザイン	公共空間・インフラストラクチャーのデザイン	空間情報デザイン、都市環境デザイン工学研究1/2/3/4

[2019年度] ※年度により授業を持たない場合があります。

研究室紹介

福井 恒明 教授

都市・地域景観の創出や
保全についての
考え方・手法・成果に関する研究



良好な都市・地域景観とは何かを
現場で考え、その創出・保全の
考え方や手法を研究する

拡大・成長の時代が終わり、都市や地域の姿がそれを支える仕組みとともに危機に瀕している現在、都市計画や公共事業に対するニーズは都市の活力の維持や新たな魅力の創出、顕在化へと向いています。これに対応するには、個別地域の歴史や現状を丁寧に理解すると同時に、その特質を生かす戦略や方法を総合的に考える視点が必要です。そうした問題意識に基づき、公共空間や構造物のデザイン、景観計画や関連制度などのプランニング・マネジメント、景観の認識・評価・歴史など、良好な地域景観の創出・保全の考え方や手法について研究し、自治体との協働も行っています。

※本専攻には、このほかに都市プランニング、環境システム、施設デザイン分野を扱う、全部で9の研究室があります。

学生・修了生の声

岩田 峻

修士課程 在学中

研究の専門性を高めながら、
“苦手”を克服できる環境です



私の研究

江戸城外濠の水質を解析するモデルの解析精度の向上に取り組んでいます。この研究を進めることで、現在も問題になっている外濠の水質悪化を改善するための知見を養うなど、現代社会にもつなげることができるのは魅力ですね。データ解析に必要なプログラミング知識も学び始めるなど、今後より専門性を高めていきたいと考えています。

大学院の魅力

学生同士のディスカッションが多く、少人数制での発表が授業の中心になっているため、意見交換や相談がしやすい環境が整っています。僕自身、人前で発表することに苦手意識を持っていましたが、友人との議論や口頭発表を重ねることで少しずつ克服しました。専門性の高い知識を学ぶことだけでなく、様々な刺激を受けて成長できることが大学院の魅力です。

研究テーマ

江戸城外濠における生態系モデルの構築と水質改善策に関する研究

修士課程

建築計画学概論(2)
近現代デザイン概論(2)
環境工学概論(2)
景観デザイン概論(2)
地域・都市再生概論(2)
環境技術英語(2)
知的財産権論(2)
現代産業論(2)
海外研修プログラム1/2(3)
都市環境デザイン工学基礎1/2(各2)
災害リスクマネジメント概論(2)
沿岸防災工学(2)
材料科学概論(2)
都市交通マネジメント(2)
空間情報デザイン(2)
比較都市環境デザイン(2)
自然・環境デザイン(2)
流域水マネジメント(2)
水域環境の保全(2)
応用水文学(2)
自身滅災工学(2)
鋼構造の疲労(2)
地盤・地下水環境保全学(2)
社会基盤施設の資産管理(2)
鋼橋の点検・診断・対策技術(2)
複合材料構造解析(2)
ライフサイクルエンジニアリング(2)
耐久性力学(2)
景観とデザイン(2)
計画の可視化(2)
河川環境工学(2)
国土・地域概論(2)
コンクリート工学及演習(2)
鋼構造学及演習(2)
構造力学2(2)
都市計画法と政策(2)
交通計画(2)
地盤環境工学(2)
水理学2(2)
水資源工学(2)
デザインスタジオ(都市)(各3)
耐震工学(2)
プロジェクトスタジオ(2)
流域水文学(2)
有限要素法基礎(2)
測量学(2)
サステナブル都市デザイン(2)
水環境デザイン(2)
構造解析と設計(2)
都市環境デザイン工学研究1/2(各2)
都市環境デザイン工学研究3/4(各3)

博士後期課程

都市プランニング論(2)
環境システム論(2)
施設デザイン論(2)
都市環境デザイン工学特別研究1/2/3/4(各2)
都市環境デザイン工学特別研究5/6(各3)

[2019年度] ※開講科目は年度により異なります。() = 単位数

修士の研究テーマ

- ・重要文化的景観における生業の実態に関する研究—「葛飾柴又の文化的景観」を対象として—
- ・石積み擁壁に対する大変形 SPH-DEM 解析法の開発
- ・万力林を対象とした水防林の洪水制御機能に関する水理・流砂解析
- ・丸太打設によるせん断変形抑制を考慮した液状化対策効果の検討
- ・江戸名所図会の挿絵に描かれた江戸の景観構造
- ・神田神保町における古書店街と教育機関の変遷—不完全情報による時空間表現手法の検討—